

平田出張所便り

国土交通省出雲河川事務所

出雲神話と斐伊川

第39号(11月21日版)

10月は全国の神々が会議をするために出雲に集まるため、全国的には神無月と呼ばれていますが、出雲地方では神在月と呼ばれています。稲佐の浜に迎えられた神々は、旧暦の10月11日から10月26日までの間、最初に出雲大社で次に松江の佐太神社で会議が行われ、その間それぞれ神在祭（かみありまつり）が行われます。

会議を終えた神々は、最終日の10月26日の夕暮れに斐川町併川の斐伊川近くの万九千神社まんくせんじんじゃに集合して、出雲からのお立ちの時が来たことを告げる神等去出祭（からさでさい）が厳かに行われ、その夜に酒宴を催され翌年の再会を期してそれぞれの帰路につかれるそうです。

人々は神々のお立ちを「からさで」と称して静かに見送る風習を伝え、この地を「神立（かんだち）」と呼んでいます。神社近くの斐伊川に架かる国道9号と9号バイパスの橋をそれぞれ「神立橋」、「からさで大橋」と命名されているのも、これらの地名にちなんだものと思われま



～ 担当者からのひとこと ～

万九千神社では、毎年新暦の11月26日に神等去出祭が行われますので、お近くで歴史に興味のある方は是非お出掛けになられてはいかがでしょうか。